

実施報告書

◆ 基礎情報

計画名	将来を主体的にデザインするためのキャリア支援科目の充実
実施責任者	生活科学科 渡辺明日香
対象者	生活科学科 1年生80名 および2年生 12名
実施期間	2025年4月～2026年2月

◆ 取組み概要

生活科学科1年次必修科目「チャレンジ・ゼミナール」および「キャリアデザイン演習」を連携させ、正課・正課外を通じたキャリア支援とリーダーシップ育成を実施した。SPI・英語対策講座による基礎学力向上に加え、2年生SAや内定・編入学が決まっている学生参画による「就活・編入学トークイベント」等を開催した。先輩との交流やグループワークを通じ、学生が主体的に将来をデザインする力を養うと共に、共立リーダーシップの4つの観点（目標共有・率先垂範・相互支援・包容性）の理解と実践を促進した。



◆ 取組み全体の流れ

通年科目「チャレンジ・ゼミナール」では、4月にSPI・PROG等を実施し、夏季集中講座や後期の英語対策講座、OG報告会を通じて基礎学力と進路意識を醸成した。後期の「キャリアデザイン演習」では、自己分析、業界研究、履歴書作成に加え、第7・8回に2年生SAによる「就活・編入学トークイベント」を開催。先輩との対話を通じ具体的な進路イメージを形成した。並行して学習達成度を可視化・管理しつつ、最終回では1年間の集大成として「私のキャリアデザイン」のプレゼンテーションと、リーダーシップ・ルーブリックを用いた総括的な振り返りを実施した。

<通年・チャレンジ・ゼミナール>

- 4月 キャリアガイダンス・SPI試験対策講座・PROG受検会
- 5月 基礎でのチャレンジゼミナール履修説明
- 6月 チャレンジ・ゼミナール履修者決定
プログラムへの参加・報告書の提出・担当教員との面談
- 8月 SPI 基礎夏期集中講座
- 9月 チャレンジゼミナール中間報告会①
- 10月 SPI 模擬試験・共立女子大学編入学説明会
- 10-12月 編入OGによる体験報告会（分野別・全6回）
- 11月 編入学英語講座
- 12月 チャレンジゼミナール中間報告会②
- 2026年
- 2月 SPI Web模試・レベル別解説会
チャレンジカードの最終提出・担当教員との面談

<後期・キャリアデザイン演習>

- 第1回 ガイダンス：キャリアデザインとは何か
- 第2回 私のキャリアデザイン①自己分析
- 第3回 私のキャリアデザイン②グループ内発表
- 第4回 特別演習①「短大1年生の今、準備すること」
- 第5回 業界研究①全体会
- 第6回 業界研究②振り返りとグループワーク
- 第7回 特別演習②リフレクション・セミナー
- 第8回 3クラス合同 就活・編入学トークイベント①
- 第9回 3クラス合同 就活・編入学トークイベント②
- 第10回 特別演習③「人生100年時代のキャリア＆ライフプラン」
- 第11回 履歴書・エントリーシートの書き方
- 第12回 私のキャリアデザイン・プレゼンテーション準備
- 第13回 私のキャリアデザイン・プレゼンテーション
- 第14回 授業の振り返り・卒業研究の履修説明会

◆ 取組みの成果

授業と学科プログラムを一体で運用した結果、入学後に資格取得を達成した学生はアンケート回答者72名中23名（31.9%）となった。

「伸びせた」と自己評価した観点は、率先垂範49.3%、相互支援47.9%、包容性31.5%、目標の設定と共有17.8%（複数回答）で、協働場面を通じた成長が確認できた。自由記述では、先輩のトークイベントが「具体的で参考になった」と極めて好評で、学年を越えた学びの循環につながる成果が得られた。さらに、履歴書作成やプレゼンテーションを通じ、自身の強みや将来像を言語化する力が着実に身につき、次年度の就職・編入学活動に向けた土台が形成された。

生活科学科ニュース

Tパスポート試験に5名の学生が合格しました！
https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/academics/junior_college/seikatu/news/detail.html?id=5695

ファッショングループビジネス能力検定3級に6名の学生が合格しました！

https://www.kyoritsu-wu.ac.jp/academics/junior_college/seikatu/news/detail.html?id=5795

Instagram

内定報告会

https://www.instagram.com/p/DN1pgrBPcfJ/?img_index=1

就職・編入学トーク

https://www.instagram.com/p/DSKRBNTD6ww/?img_index=1

◆ リーダーシップ教育に関する実践

共立リーダーシップの意識づけ、目標設定の活動	「キャリアデザイン演習」では、授業初回に共立リーダーシップの4観点とループリックを示し、各自が「今期のリーダーシップ目標」を言語化した。「チャレンジ・ゼミナール」では参加プログラムの目的・期限・到達点を明確化し、担当教員への報告、相談を繰り返しながら、報告書を提出し、記録を残しながら進捗を確認した。中間報告会で目標を再設定したり、最終的には、チャレンジカードを担当教員に提出し、プログラム全体の自己評価と、担当教員からのアドバイスを受けて振り返りを行い、次の行動計画を立てた。
協働活動	「キャリアデザイン演習」では、ペアワークやグループワークにより、他者との協働活動を取り入れた。特に「就活・編入学トークイベント」では、2年生と1年生がワールドカフェ形式で交流し、先輩は後輩の支援（相互支援）を実践し、1年生は質問を通じて積極的に関わる姿勢（率先垂範）や今後の活動の具現化（目標設定）を実現できた。また、授業内のワークやプレゼン準備においても、メンバーの意見を尊重し（包容性）、共通の成果物を作り上げる協働プロセスを重視した。チャレンジ・ゼミナールでは2回の中間報告会で活動の工夫を共有し、互いの取り組みを励まし合う学びの場を形成した。
共立リーダーシップの観点での振り返り	後期の授業最終回において、共立リーダーシップ・ループリックに基づいたアンケートおよび振り返りシートを実施した。「目標設定」「率先垂範」「相互支援」「包容性」の各項目について、S～Dの5段階評価と記述によるリフレクションを行った。アンケート結果からは、「グループワークで周りを見る力がついた」「他者の意見を受け入れられるようになった」等の記述が多く、具体的な経験に基づいた振り返りがなされていることが確認できた。

◆ 学生の成長に関する総括

学生は、自己分析→業界研究→行動（受験・講座受講・応募準備）という流れを年間で経験し、「何を、いつまでに、どう進めるか」を自分の言葉で説明できるようになった。先輩チューターの経験談を手がかりに、就職・編入学の情報を“自分ごと化”し、日々の学修や資格学習へつなげる姿も確認できた。入学当初は受動的だった学生も、グループワークやイベント参加を経て、「自ら発言する」「困っている他者を助ける」ようになった。特に、先輩SAの姿に刺激を受け、「次は自分が後輩に伝えたい」という循環型のリーダーシップ意識が芽生えている点は大きな成長である。また、自身の将来像を漠然としたものから、具体的な行動計画へと落とし込む力が養われていた。

◆ 取組みを通した全体の所感

本取組は、授業（正課）と学科プログラム（正課外）を分断せず、同じフレーム（共立リーダーシップ）でつなぐことで、学生が学びを整理しやすくなった点に意義があった。特に、1年生の早い段階で「目標→行動→振り返り」を繰り返し意識づける経験を積めたことは、就職・編入学の準備だけでなく、今後の卒業研究での探究活動にも波及すると考える。

一方で、アンケートには「まだ自信がない」という声も一部散見されるため、個々の学生の特性に合わせたきめ細やかなフィードバックや、自信を積み重ねる機会提供が引き続き重要である。

◆ 今後の展開

次年度も全員が主体的に参加し達成感を得られる仕組みをブラッシュアップする。具体的には以下の4点を中心に展開することを予定している。

- ①目標設定の支援を強化し、学期内に小さな達成を積み上げる設計にする。
- ②先輩チューター企画を継続し、学年を越えた学びの循環を拡大する。
- ③参加しやすい導線（情報発信・時間設定）を整える。
- ④卒業研究でも振り返りを接続し、2年間を通じた育成へ発展させる。



生活科学科オリジナルキャラクター